

## 評価結果の公表方法について

## 1. 今年度新たに導入された車線逸脱抑制装置のパンフレット表示について【審議事項】

従前の表記において、被害軽減ブレーキでは検出方式を記載(カメラ、レーザー等)しているが、ユーザー視点では検出方式の違いによる差異が明確ではなく解りづらいことから、試験方法をイメージした表記にすることによりどんな装置かということが解りやすい。なお、検出方式については、ホームページ詳細により確認できる。

自動車アセスメントにおける評価結果について、別紙の通りパンフレットの記載内容案を提案する。(別紙)

## 2. ペダル踏み間違い時加速抑制装置の広報の仕方について【報告事項】

総合評価において、事故低減効果は2点と低いが、高齢者における効果は大きくなる。アセスメントにおいての見せ方の工夫についての検討が必要であり今後の課題である。(例：パンフレットの試験紹介等において高齢者というキーワードを盛り込むなど)